



3 月 号

昭和59年3月1日
編集／発行
岡崎市教育委員会

新しい街に残された自然の森、
早春の木々に数知れぬ小鳥が集う。
ここは、
子供らのふるさと。

この森の清掃活動を手がけたその
日から、
児童会のボランティア活動が始ま
った。

土曜日、下校前のひと時、
空腹について流す汗は快い。

自然に親しむ心、
郷土を愛する心、
それは、自らを育てる心である。



(野鳥の森奉仕活動一竜美丘小)



独創性を育む教育を

—教育随想—

岩村 秀

私どもは分子科学研究所で毎年百人を越える海外の一流の科学者の訪問を受け、学術研究推進のための意見交換、協力研究あるいは競争を行っている。お茶の時間など、話はしばしば研究体制の問題などに及ぶ。多くの方は、低成長時代にも拘らずこの様に施設・設備の整った研究所の設立・運営を可とした日本の政治の包容力を口をそろえて賞賛する。

ところが、仕事が一区切りつき、一緒に一杯飲む様な機会に、口が軽くなると次第に儀礼的な賛辞から本音が出て来ていろいろと教訓を受けることがある。最近こうした機会の中で、米国の科学アカデミー会員でもある著名な学者が日本をひと回りして研究所に帰って来て、私どもにショッキングなコメントを与えた。彼の発言はこういうものである。「日本は生産技術で欧米のそれを追い越し、

先端技術でも覇を争う所まで来た。これからの科学・技術は日本の独壇場となるのではないかとアメリカ人の一人として危惧を感じていたが、日本にも弱いアキレス腱が二本あることを見つけた。これが改善されない限り米国はいましばらく安泰である。このC教授によれば、二本のアキレス腱とは、独創性を育む教育体制と若手研究者の独創性を十分に発揮させる研究体制で、この二点に関する限り米国の方がよほど優れた体制を持っており、かつそれがうまく機能していると言うものである。ここでは紙面の都合上、

第一の点についてのみ感ずる所を述べてみたい。戦後の日本の教育は、機会均等と民主主義教育を主眼とし、一方ならぬ成果を収めて来た。一般教育水準は極めて高くなり、高度の文化と技術を生み出し、こ

れを享受し得る社会を築き上げた。第二次大戦後わずか三十年ほどでこれが達成できたのは、良くも悪くも日本の教育の能率性・画一性にあったと私は考える。生徒は日常生活で同じようながをはめられ、教室ではいかに皆と同じように考え、同じ結論にいかにも能率よく到達するか指導されてきた。従って、むずかしい方程式を解き、その応用問題もこなす世代が少なからず育ち、その延長線上に日本の目覚ましい製造技術の進歩が位置づけられる。欧米で発見され十分技術的に開発研究されていない科学の原理が沢山眠っていた時代はこれでよかったのかも知れない。これを開発し尽くし製造技術のトップランナーとなった日本が、次世代・次々世代も高度の科学技術を掘り所とするならば、これからは独創的な研究で新しい科学の原理を発見して行く所から始めなければならない。

独創性を持つ人間を学校教育で育むという点にこれからは力を注ぎ、教室においていかに人と違った考え方をし、人のやらないことをやるかが重要視される必要があると考える。C教授が指摘したように、米国では、これが一般にうまく行われていると評価されている。教育には規律も必要であるが、人と違った考え方の人のやらないことをやる生徒を励ますことは、マス教育にとって非能率と考えられるかも知れないが、日本の将来を考え学校教育に期待したい包容力である。(分子科学研究所 教授)



静思

美川中学校長

犬塚 鎡 治

三年生の生徒が、もうすぐ巣立っていく。しかし、彼らの姿を眺めていると、進路について、彼らがどれだけ真剣に考えているのか、将来について、どこまで見通して考えているのかと心配になる。

就職試験で簡単な数学のテストがあった。できないため、社長さんに教えてもらったとか。冷汗三斗、なぜこんな落ちこぼしを……心が痛む。

教材と教材研究、生徒の到達度、理解度をいつも頭において教壇に立つことである。

本校では、二年の時に立志の式がある。ただの学校行事に終わらないよう意義あるものになりたい。三年の進路指導は確実なものとなろう。

挿し木した木が立派に育っている。手の行き届かなかつた挿し木は育ちが悪い。

ふるさとシリーズ
—この人に聞く—

尺八六十年

加藤 景 堂 氏

琴古流は、日本尺八界において最も古い流派である。加藤さんは琴古流宗家より、長年の伝承と普及の功績により感謝状を受けている。この感謝状は全国で四人が受けているが、この四人の中でも、教授生活は加藤さんが一番長い。

「尺八を始めたのは十三歳の時でした。子どものころ、大きな病気をしたんです。運動もできないし、家にいることが多い。そんな時、学校の先生が、尺八を勧めてくれたんです。」

稽古時間は毎日八時間。腹に力を入れ

て吹くから、よくめまいを起こしたそうです。

お弟子さんの延べ総数は二千名にも及ぶ。その内、女のお弟子さんは三名。

「今、教えている人は四十代が多いですね。中には小学生もいます。長続きできる人は少ないですよ。まず正座することが大変のようです。」

和室の稽古場には、今では珍しくなってきた火鉢が置かれている。

「これは、暖を取るためというよりも、尺八を作るためにあるんです。竹の油を抜いたり、曲げたりするために使っています。」

加藤さんは尺八の指導のかたわら、尺八の製作にも励み、これまで約五千本作られている。戦前は満州にも送っていたそうである。

「竹は真竹を使います。寒中に東加茂へ捜しに出かけます。固くて、肉があつて、年数を食っていないといかんです。取ってきた竹は三か月天日で干し、その後一年間陰干ししておくんです。それから作るわけなんです。調律が一番難しいですね。真竹の尺八を使うのは上達した人で、一般的には楓の尺八が多いんですよ。」

加藤さんはこれまで、他の職業に就くことなく、六十年間この道一筋を貫いてきた。一番思い出深いことは何ですかと尋ねてみた。

「十八歳のころでしたが、東京の宗家の所に出かけ、指導を受けたことがあります。」

ました。その時、おまえの尺八は自分があるから駄目だと言われましたよ。人に聴かせようとしたり、うまく吹こうと意識しているというわけです。無の境地で吹くことが大切なんだということですね。」

加藤さんは「芸の道は人の道」「芸道無涯」と常々説いている。

「尺八を通して人間をつくっていくことが一番大切なんです。どの芸でもそうだと思いますよ。」

四十年間愛用する尺八は、黒く光っている。長年の手の油が染みついたものがある。

加藤さんは地唄三絃の伝承、普及にも努力されている。

生年月日 明治41・3・28
住所 岡崎市八幡町三丁目六一
職業 尺八教授
(岡崎邦楽協会会長)



誠実さは人を動かす。口先だけでは人はついてこない。

師弟同汗から

男川小学校長

萩原博之

「やって見せて

言って聞かせて

させてみて

ほめてやらねば

人は動かじ」

これは山本元帥の部下指導の要諦をずばりと表現した、よい道歌であると思つて、わたしの座右の銘としている。

軍隊は、上官が命令すれば、そのとおり確実迅速に実施されたところである。

それが、将官であっても、なおかつ、やってみせたり、言つて聞かせたり、さまざまにやつて、しかもほめてやらなければ人は動かなかったようだ。

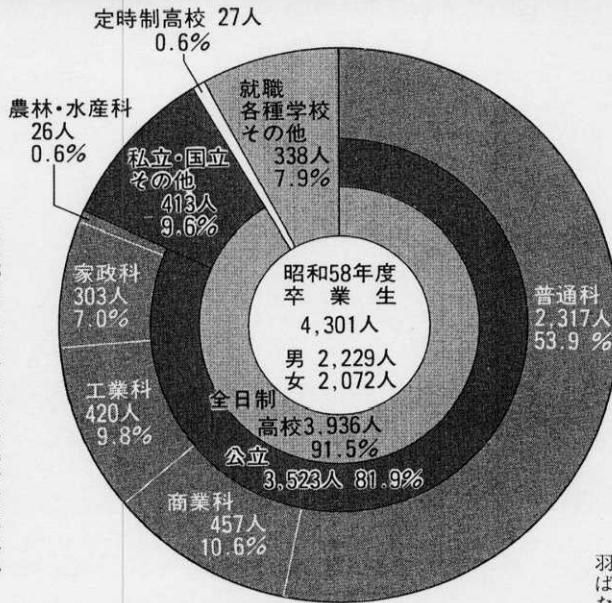
ましてや学校などでは……………。

ちなみに、本校では四年生以上の一部の児童(日)によって異なるが、約五十名(六十名)が、登校後、校門付近から玄関の清掃を自主的に行つたり、「みどりの少年団」団員が、昼食後の放課時に校内樹木や花壇等のパトロールを進んで実践している姿を見るとき、これは師弟同汗の体験学習によって培われたものと自分勝手な解釈をしている。

羽ばたけ 中学卒業生



①



昭和58年度中学卒業生進路希望状況

〈昭和五十八年十二月十日現在〉

桜の芽も膨らみ始め、市内中学三年生四、三〇一名は、それぞれの夢と希望を胸に抱き、巣立つ日を待っている。義務教育九年間を振り返った時、彼らの心に浮かんでくるものは何であろうか。友だちと共に過ごした修学旅行、山の学習、汗を流し、友と競った部活動、精一杯演じ、歌った学芸会、文化祭。

わかる喜びを知り、楽しかった授業。応援合戦に火花を散らした校内球技大会。友との別れに涙した卒業式。そして、真剣に語り合った思い出深い先生や友のこと。どれも忘れ難く懐かしい思い出ばかり。行く道の違いはあるけれども、彼らの目の前には大きな未来が広がっている。自らの可能性をさらに伸ばし、着実に成長してくれんことを願うばかりだ。

羽ばたけ / 中学卒業生。



②



昨年は、進学か就職かでいろいろ悩みましたが、今は美容師の道を選んで本当によかったと思っています。初めは、男で美容師ということにとまどいもありましたが、私の兄がこの道で頑張っていることもあって、決心ができました。少しずつ技術も身につけてきましたし、

毎日、目標を持って楽しく働いています。辛いこともありませんが、お客さんにほめられたりした時などはうれしくて、とても励みになります。

将来は、仲間の人たちとチェーン店を開きたいという夢を持っています。まだ遠い夢ですが、近づけるよう頑張りたいと思います。

杉浦 彰二君
(六ツ美中57年度卒)

市役所の職員として働き始めて、早一年になろうとしています。やっとな仕事にも慣れ、毎日張り切っています。現在は、福祉課の医療券交付係で受付事務を主な仕事としています。

将来は大学へという大きな夢を抱いて、仕事を終えた後、定時制高校に通い、勉強を続けています。今年も大学検定を受験するつもりです。

今まで人に言えないような苦しいこともありましたが、そんな時にくじけずに頑張り通せたのも、中学校の担任の先生の温かい励ましのお言葉のおかげです。今では、後悔もしていませんし、この仕事に全力で取り組んでいきたいと思っています。

酒井 史江さん
(矢作中57年度卒)



- ① 「可能性を信じて、力強く生きるぞ。」
立志の式。我らの輝ける未来のために、
キャンドルの灯よ、永遠に。
- ② 「希望の高校に入れますように。」
それぞれの願いを「絵馬」にこめて。
- ③ 「ハイ、こちら〇〇です。」
明るく、はきはきとした口調で話す、
就職前の電話応対練習。
- ④ 「在校生諸君、ありがとうございます。」
卒業を祝う会。下級生から心温まる祝
福を受けて、決意も新たに。
- ⑤ 卒業式後、先生や在校生に見送られ、
学び舎を後にする卒業生。

● 個人研究の部

58年度教育研究論文入選者

最優秀賞

氏名	学校名	教科・領域	研究主題
小倉 敏幸	梅園小	理科	問題意識の連続する理科学習
石原 博文	甲山中	技術家庭	問題意識を大切にする授業過程

応募総数 432

小学校 個人 237 共同 37 中学校 個人 112 共同 46

優秀賞

野々山 こずえ	梅園小	国語	カイコとともに成長する子ども
鈴木 ゆき子	梅園小	国語	私の作文指導
金子 一元	亀美丘小	国語	豊かな自然認識を育てる作文指導の実践
加藤 由美子	連尺小	国語	読み書きを結ぶ表現指導
松井 伸市	常磐小	国語	心をゆきふり書く意欲を高める作文指導
稲葉 道彦	連尺小	書写	見つめから見ぬくへ
佐々木 公磨	梅園小	社会	問いつづける力を育てる社会科学習
杉浦 正光	細川小	社会	実感をもって働く人ととらえる社会科学習
高比良 泰太	矢北小	社会	他とのかかわりの中で自らの考えを深める
桑木 富士子	大樹寺小	算数	子どもの考えを育てる授業をめざして
中川 朗子	大門小	算数	教材の開発をめざして
水野 昌孝	城南小	算数	考える力を育てる線分図の指導
玉腰 久恵	亀美丘小	理科	意欲的に活動する喜びを体験させる理科の授業
平岩 浩文	広幡小	理科	自然認識を深める理科の授業
松岡 育代	六北小	音楽	創造性豊かに表現する子ども
鈴木 明	梅園小	体育	自分の動きを創る体育学習
石川 昌宏	男川小	特別活動	心のかよう教育を求めて
林 和泉	恵田小	特別活動	複式学級における学級づくり
柴田 弘子	大樹寺小	視聴覚	進んで行動し、考えを深める子どもたち
山本 信幸	広幡小	教育全般	達成目標を明確化した授業内評価
藤野 美鈴	常南小	教育全般	地域の自然を教材とした低学年の感性指導
鶴田 紀美子	矢北中	国語	楽しい古典学習を求めて
黒柳 喜一	竜海中	数学	発展的・統合的な見方・考え方を育てる指導
高須 亮平	常磐中	数学	操作活動、ノート指導による数学指導
山本 禎夫	矢北中	理科	生徒の発想を生かした理科指導
伊藤 淑	竜海中	音楽	音楽する喜びを起こさせる授業づくり
鈴木 由郎	矢北中	美術	豊かな発想を引き出す表現の指導
名倉 昭人	矢作中	技術家庭	点滅器の製作
山本 悟	東海中	英語	効果的な英語学習指導のあり方を求めて
篠田 英昭	岩津中	道徳	ともにによりよく生きる道徳指導
明保 俊通	竜海中	特別活動	主体的に活動する生徒会活動の育成をめざして

佳作

高橋 純子	羽根小	柴田 輝夫	広幡小
太田 純子	連尺小	梅村 京子	美合小
小栗 春枝	愛宕小	金指 由香里	亀美丘小
小林 治	福岡小	尾崎 貴美子	生平小
野勢 裕子	福岡小	岡田 要子	城南小
鈴木 純子	福岡小	内田 一男	上地小
後藤 弘	常東小	糟谷 京子	福岡小
鈴木 勘三	奥殿小	白井 正壮	細川小
嘉森 環	城南小	近藤 喜美子	根石小
神尾 房江	竜谷小	三木 世紫枝	広幡小
福広 謙一	梅園小	夏目 恒男	上地小
内田 紀詞子	緑丘小	織田 和幸	南中
神尾 まゆみ	連尺小	倉橋 正博	葵中
嶋崎 勝	広幡小	田境 行孝	福岡中
小栗 正貴	藤川小	岡田 豊	河合中
岡本 孝幸	大樹寺小	河合 好文	岩津中
山田 一夫	矢西小	高橋 鏡二	岩津中
犬塚 尊夫	井田小	近藤 嗣朗	六ッ美中
鈴木 優	生平小	大山 和久	南中
中根 康子	岩津小	神谷 芳雄	東海中
石川 新史	大樹寺小	二瓶 千秋	東海中
平岩 昭	亀美丘小	村松 裕	六ッ美中
矢田 敏行	藤川小	塩沢 順治	岩津中
斉藤 博子	六中小	磯貝 良雄	矢北中
安藤 幾子	上地小	光田 啓美	城北小
小林 稔子	梅園小	山井 正子	六ッ美中
伊東 淑子	連尺小	酒田 泉美	矢作中
武田 薫	常東小	栗田 錦治	美川中
伊藤 友隆	大樹寺小	金澤 喜久雄	六ッ美中
石川 春次	矢南小	畔柳 都	美川中
本間 茂夫	六中小	加藤 一彦	甲山中
三浦 みどり	細川小		

● 共同研究の部

最優秀賞

現職教育部	細川小	社会	自ら調べ、磨き合い、生きる学習の建設
社会科部	竜海中	社会	社会事象を実感的・多面的に追求する学習指導

優秀賞

5年部会	細川小	社会	自ら課題を持ち、仲間とともに追究する
算数部会	矢束小	算数	計算力の向上をめざして
2年部会	六北小	理科	自然とのふれ合いを深め感動する場の構成
現職教育部	連尺小	教育全般	見つめ見ぬく力を育てる学習指導
現職教育部	常南小	教育全般	「できる喜び」を追求する教育活動
数学部会	矢北中	数学	わかる数学を求めて
理科部	福岡中	理科	ひとりひとりを生かす理科の授業
英語部	六ッ美中	英語	確かな学力の習得をめざして
みどりの地球研究部	美川中	視聴覚	「みどりの地球」5年間の実践と行動化
研究推進部	竜海中	教育全般	わかる学習指導の実践研究

佳作

2年部会	福岡小	美術部	六ッ美中
2年部会	岩津小	体育部	竜海中
4年部会	細川小	技術家庭科部	南中
4年部会	矢南小	現職教育委員会	香山中
理科研究部	連尺小	生活指導部	葵中
藤野公一・山本若子・清水 善	城南小	現職教育部	葵中
家庭教育部会	矢北小	現職教育部	香山中
社会科部	岩津中	助け合い部会	岩津中
数学科部	南中		

ビデオは楽し

常磐南小 藤野 美鈴

「先生。ぼく、ビデオに映って
いたね。上手に木を植えてい
たでしょう。」

と、ビデオに映った事を自慢す
る子ども。

本校は、土曜日のゆとりの時



間に様々な活動をしている。そ
の様子をビデオで記録し、月曜
日に放映して活動の反省材料と
している。だから、最新の機種
のビデオがフルに回転している。
ところが、

「藤野さん、これはいつの植樹
かね。草木が黄色に紅葉して
るじゃないかね。」

確か四月の新緑が映っているは

ずなんだが、緑の葉はすべて黄
色に変色していた。これは、視
聴覚主任としての私の初仕事の
日のことである。機種は最新で
も、カメラマンに欠陥があるの
だ。

しばり・ズーム・ピント・露
出・ホワイトバランス、何を聞
いてもチンパンカンパン。カメ
ラなんてバカチョンしか知らな
い私が撮影したんだから、黄色
の葉になっても不思議ではない。

しかし、そんなビデオを見て
「ぼく映っていたね。ありがと
う。今度はもっと一生懸命働
くよ。」

と喜んでくれる子どもがいたの
である。「映せない」なんて言
ってははいられない。「とにかく
体で覚えなくては」と思い、撮
り続けてきた。

二十キロもあるビデオ機材を
かついで野山を歩き回るのは大
変である。撮影どころではなく、
何度も機材とともに転んだりし
た。また、先日の小運動会では、

自分の番をすませては撮影を続
けていたので、ハーハーとい
う声がいかり録音されたり
していた。その上、ピンボケと
きてるから、見られたものでは
なかった。

四月から二十五本余り撮って

きたが、失敗の数は少しも減っ
ていない。でも、レンズを通し
て子どもの素直な表情を見つけ
ることができる素晴らしいさを知
ってから最近では、ビデオ撮り
が楽しくなってきた。

今日は、学校林でのシイタケ
の原木出しである。重い機材に
振り回されないように気をつけ
て、真剣に働く子どもの姿をた
くさん撮影してこようと思う。

教育日々



パソコン 発想広夢ルーム

六ツ美中 牧内 映雄

「先生/進路について相談にの
ってほしいんですが。」

「じゃあ情報処理室へ行こう。」
「うん、このカーブが気になるな。それじゃ君の希望し
ている高校について去年どん
な生徒が合格しているか見て

みよう。……トントンビー。」
「やつぱり、ストレスですね。
ぼく、もつとがんばります。」
次の日、昼の放課、別の生徒。
「先生/情報処理室を使わせて
ください。」

「ゲームをやるなら、だめだぞ。」
「そうじゃないんです……」
「わかった。あのPCを使って
確かめてみる。」

数学の授業で発展学習の一つ
として、課題が出たという。「三
角形の三辺を入力すれば、その
三角形の面積を表示するプログ
ラムを作れ。」というものだ。彼
らは放課時にワイワイ言いなが
らそのプログラムを作ったが、
果たして動くかどうか下校時ま
で待ちきれないという。

パソコンは本校生徒の中にも
かなり浸透し始め、アルゴリス
ムが簡単なものなら、自分でプ
ログラミングする者も多い。

本校でマイコンが本格的に使
われるようになってすでに数年
がたつ。生徒数が増える一方の
本校にとつて、成績処理をいか
にばやく正確に行うかが一つ
の課題だった。ちょうどそのこ
ろコンピュータがパソコンと
して我々の手の届く値段で市場
に出始めていたこともあって、
早速数人が購入。PCの必要

なプログラムを組み仕事を開始。
点数さえ入力すれば、すぐに合
計点・偏差値・学年順位等が打
ち出されてくる。仕事の能率を
高め、ゆとりの時間を生み出そ
うとして始めたパソコン。確か
にそれ自身のスピードはあがっ
たが、多くの情報をすばやく提
供するパソコンは、それに対応
する新たな仕事を次々生み出し
今まで以上に忙しくなってきた。

形成的評価の結果をSP表プ
ログラムに入力すると、指導の
欠陥と生徒一人ひとりの受けと
め方が浮き彫りにされる。それ
に対処するための教材研究と資
料作り、注意係数の高い生徒と
の個別相談等々。パソコン導入
はより一層我々を多忙にするが、
発想が広がり夢が駆ける。



一年のあゆみ

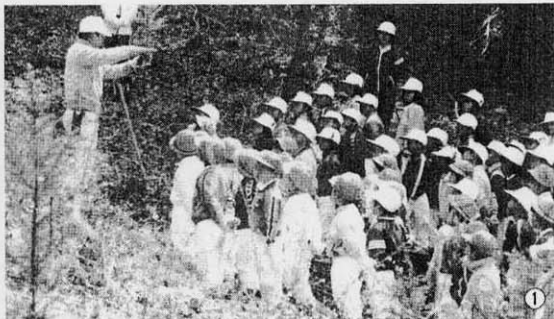


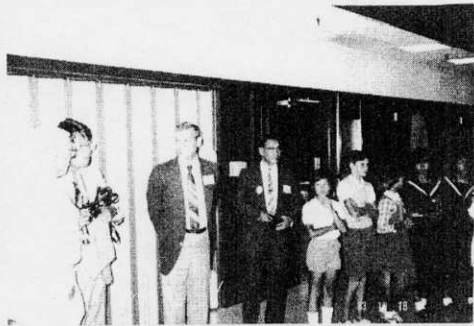
▶地道な緑化活動が実を結び、男川小が全国学校緑化コンクールで特選を受賞（五月二十二日）

9・11	8・15	8・9	8・2	8・1	7・26	7・24	7・21	7・14	7・1	6・21	6・15	6・10	5・25	5・22	5・20	5・8	5・1	4・15	4・1															
第16回岡崎市中学校新人体育大会開始	第3回全日本バレーボール大会出場(山中小・竜美丘小)	第3回全日本バレーボール大会出場(山中小・竜美丘小)	中学全国大会に陸上九、水泳六種目、女子バレー一参加	第11回岡崎市中学校生徒市議会(岡崎市議会議場)	第11回岡崎市中学校生徒市議会(岡崎市議会議場)	現職教育夏期実技講習会開始	昭和58年度全国高校総体女子バレーボール会場(岡崎)	国立ブルガリア少年少女合唱団演奏会	(6)9・25 小山内美江子氏 「家康とドラマ」	(5)9・11 法眼晋作氏 「最近の国際状況と日本の対応」	(4)9・4 中根鏡夫氏 「市勢の実態」	(3)8・21 岩村 秀氏 「物の性質は何でできるか」	(2)8・7 岡本太郎氏 「人生・芸術」	(1)7・24 福井謙一氏 「科学と創造」	第10回岡崎市民大学開講(城北中会場)	小学校球技大会開始。水泳競技大会は7・28。	第36回岡崎市中学校市長杯総合体育大会開始	ゆかりの町提携(白田町・茅ヶ崎市・関ヶ原町)	市制施行67周年記念式典で教職多年勤続の先生17名表彰	岩津中研究発表会	FBC春花壇で細川小農林水産大臣賞を受賞	連尺小研究発表会	第13回学校図書館賞を根石小が受賞	小が第34回全国植樹祭で特選	学校林活動に常磐南小・学校環境緑化コンクールに男川	香山中研究発表会	第27回岡崎市中学校総合体育大会	第10回岡崎子どもまつり(菅生川原)	現職教育委員会総会(甲山中)	新任教員の集い、3・27から三日間(少年自然の家)	常磐中の4校	松下視聴覚教育研究助成校に広幡小・細川小・美川中・	新規採用教員98名辞令伝達式	上地小学校新設開校



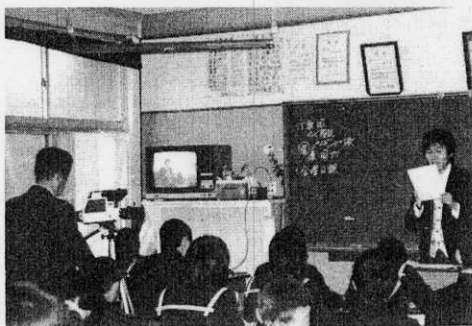
⑤教育機器を取り入れた英語教育
 ④地域が認められ文部大臣賞を受賞した奏梨小。(十月二十八日)
 (七月二十六日・市民会館)
 ③ブルガリア少年少女合唱団来岡。美しい歌声とハーモニイは、すべての聴衆を酔わせた。
 ②ゆかりの町提携のため、白田町茅ヶ崎市・関ヶ原町の代表者が一堂に会し、提携調印を交わす。(七月一日・市民会館)
 ①ふるさとにあって勤労を尊び、ふるさとを慈しむ子どもを目指す学校林活動。(常南小)



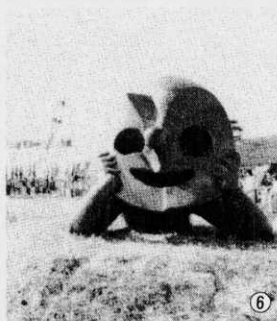


▶ 第四回中学生親善使節団アメリカへ（十月十二日～二十一日）

◀ 本年度、市内18校に設置された校内映像放送双方向システム



9・13	9・20	9・21	10・1	10・10	10・12	10・18	10・23	10・25	10・27	10・28	10	10・2	11・5	11・8	11・11	11・15	11・18	11・19	11・22	11・25	12・4	12・25	1	1・8	1・12	2・15	2・29	3・1	3・1	
県学校環境コンクールで竜美丘小特選	世界児童美術展（市美術館）9・25まで	藤川小研究発表会	葵中研究発表会	岡崎市教育委員長天野一太氏の後任に矢田香子氏選任	市民体育祭（六名公園）	理科作品展（竜美丘小）技術・家庭科作品展（市体育館）アメリカへ第4回中学生親善使節団（生徒4・教師2）	梅園小研究発表会	小学校陸上競技大会	第25回英語スピーチフェスティバル（太陽の城）	ソニー理科教育振興優良校として大樹寺小受賞	秦梨小健康安全校として文部大臣賞を受賞	細川小研究発表会（受社研究会、細川小・岩津中）	校内放送双方向システム設置（第一次設置校、小13中5）	第20回造形おかきっ子展 11・3まで	花いっぱい全国コンクールで毎日賞に六ッ美北小	矢作北中研究発表会（文部省指定）	学校放送教育の論文で美川中文部大臣賞受賞	大門小研究発表会	市学校保健大会健康優良・よい歯の生徒表彰（連尺小）	全国自作視聴覚教材コンクール8ミリ映画「塗師」入賞	県健康優良校中規模校の部で愛宕小特別優秀賞	福岡小研究発表会	FBC秋花壇で愛知県大賞を細川小受賞	第10回冬季研修会（少年自然の家）12・26まで	第27回小中学校書き初め展（市美術館）1・22まで	第35回市民駅伝競走大会（六名公園）	緑丘小研究発表会	県自作視聴覚教材コンクール8ミリ映画「木彫師」教育長賞受賞	岡崎のふるさとシリーズ第二集「ふるさと山河」発刊	「続おかさぎのむかしばなし」・「おかさぎっ子の造形」発刊



のあり方を追究し、その成果を子どもも参加して発表する矢北中。（十一月八日）

⑥芸術の秋。岡本太郎氏を迎えて第20回おかさぎっ子展を菅生川原で華やかに開催。岡本氏、「午後の日」賛助出品。（十一月二日）

昭和58年度研究発表校の研究動向一覽表

発表 月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料(研究物・講師・助言者)
5月20日	香山中学校	特別活動	気づき、考え、実行する生徒の育成 ——青少年赤十字活動の実践——	・青少年赤十字の三大実践目標(健康安全・奉仕・国際理解親善)を学校教育に具体的に取り入れて、自主自律の心を育てる研究。	研究物「気づき考え実行する生徒の育成」「香山の自然と文化」 講師 日本赤十字社青少年課長 関口 清春先生
6月10日	連尺小学校	教育全般	見つけ見ぬく力を育てる学習指導 ——社会・理科・図工・書写の授業を通して——	見方とその深まりをおさえ、見物と見どころ、見ごろと見せ場、見方の深まり、見る意欲の高め方などを研究して、児童の見る力を伸ばす。	研究物「見つけ見ぬく力を育てる学習指導」 助言者 元愛教大・栗原光政先生 愛教大・近藤鑑郎先生ほか5名
6月21日	岩津中学校	全科	心のふれあいを深める岩中教育 ——一人ひとりが意欲的に取り組む学習活動をめざして——	心のふれあいと授業の充実を図る ・生徒に活動の場を広げる授業実践 ・道徳的心情の高揚と実践力の育成 ・生徒主体の「助け合い学習」推進	研究物「心のふれあいを深める岩中教育」「学習指導案」 資料「ふれあいのこころみ」 講師 岡崎女子短大 石川勤先生
9月20日	藤川小学校	理科・社会科学	考える力を育てる理科・社会科学学習 ——自ら学ぶ子の育成をめざして——	・自ら学ぶ子の基盤に「考える力」が重要と考え、学習指導の場で、調べる・話し合う・書くの3点を視点とし、その育成を試みた。	研究物「考える力を育てる理科・社会科学学習」児童文集「藤川っ子」 講師 愛知教育大 川上昭吾先生 広幡小 内田松夫先生
9月27日	葵中学校	教育全般	自律と感動の教育 ——学習指導と生活指導の一体化——	・よくわかる魅力ある授業 ・自らを律する葵中生(行動様式の習慣化、生徒活動) ・心を育てる環境づくり	研究物「自律と感動の教育」 資料「自律と感動」「学習の進め方」「指導案」「分科会資料」 講師 愛教大 将積 茂先生
10月18日	梅園小学校	国語・社会・理科・音楽	「子どもが創る」授業	内に問いをもち主体的に学び続ける ・こだわり ・ひとりしらべ ・かかわりあい	研究物「子どもが創る」授業、他 助言者 霜田一敏先生、内田松夫先生、鈴木依治先生、鈴木聡一先生、岩月健先生、松崎嘉信先生
10月28日	細川小学校	社会	自ら調べ、磨き合い、生きる学習の建設 ——ひとり調べを生かした社会科学学習——	・四段階に基づく学習過程の確立 ・磨き合いを効果的にする座席表抽出児を生かす授業の組み立て ・各段階に応じた資料作成と活用	研究物「自ら調べ、磨き合い、生きる学習の建設」 資料 指導案綴・社会科年間指導計画・わたしたちのノート社会・社会科自由研究 講師 上山 春平先生<県社会科学教育研究大会を兼ねる>
11月8日	矢作北中学校	英語教育	教育機器を利用した指導計画の作成と指導法の工夫 ・「聞く・話す」ことの効果的な指導法を求めて	・授業時数週3時間の中にLワークを位置づけた年間指導計画の作成と、それに基づいたLワークの効果的な在り方の実践的継続研究。	研究物「教育機器を利用した指導計画の作成と指導法の工夫」「教育機器を利用した矢北の授業」 講師 愛教大教授 後田忠勝先生
11月15日	大門小学校	国語	心に残る板書のあり方 ——板書を重視した授業の展開(国語)——	子供の心に残る板書、わかりやすい板書、美しい板書をめざして2年間、国語の芦田教式を中心に板書を重視した授業の研究、実践。	研究物「心に残る板書のあり方」板書を重視した授業の展開(国語) 講師 元東京都杉並区立桃井第一小学校長 助松 太三先生
11月25日	福岡小学校	児童詩(国語)	児童詩の創作と鑑賞の指導 ——子どもらしい生き生きとした表現のある学習をめざして——	・児童詩の創作と鑑賞の実践研究 ・鑑賞用児童詩の収集選定と編集 ・児童詩年間指導計画作成と検証 ・児童詩創作の日常化活動の展開	研究物「児童詩の創作と鑑賞の指導」「児童詩年間指導計画」「福岡愛唱詩集6分冊」 講師 児童文学協会 江口季好先生
1月20日	緑丘小学校	社会・理科・特殊教育	感動ある授業の創造 ——表現を重視して——	・子どもの見方考え方を規定して授業構想を練る。子どもの表現を生かして授業を組織していく。子どもの生活に根ざす地域に教材を求める。	研究物「要項」「子ども風土記」他 助言者 愛知教育大 松井貞雄先生 常葉学園大 荻須正義先生 愛知教育大 松下 淑先生

親鸞上人御用水



所在地一岡崎市大和町

桑子妙源寺の柳堂は、国の重要文化財として名高い。

柳堂はもともと、桑子城主で碧海郡十二万石領主安藤氏の祖先が河内国から供奉した聖徳太子像を安置するために、城内に建てた太子堂である。

妙源寺の字名は杓市場。鎌倉の昔のこのあたりは、ちよつとした文化の中心地であった。今から七百五十年ほど昔、親鸞上人が、城主安藤薩摩守の招きでこの地を訪れ、柳堂で十七日間、真宗教理の説法をしたという。柳堂の南の、マキの茂みの中に、内径六〇センチほどの小さな

な井戸がある。親鸞上人御用水の碑がなければ、だれも気に止めない小さな井戸である。ご住職の話だと、この付近には珍しい鉄分の少ない、とても良質な水がわくという。中をのぞくと地下三メートルほどに澄んだ水面が見える。その昔はひしやくと水がくめるほど水面が高かったそう。桑子城主ご自慢の井戸であったらう。そして、上人の旅の疲れをいやしたに違いない。親鸞が十七日間もこの地にとどまったのは、ひよつとしてこの水のためだったかもしれない。

● カット 井田小

水嶋直子

この本を

- * 生きている授業死んだ授業 青木 幹勇 1,300円
国土社
- * 10歳児の脳に何かが起こっている 品川 嘉也 980円
創拓社
- * 時計の社会史 角山 栄 540円
中公新書
- * 無着先生との十二年戦争 私立明星学園 母親グループ 750円
主婦と生活社
- * 楽譜の風景 岩城 宏之 430円
岩波書店
- * 歴史の群像③決断 高橋 富雄 1,200円
集英社
- * 生きることは苦しくてもなお素晴らしい 鈴木 健二 980円
大和書房
- * 愛、見つけた 小林 完吾 980円
二見書房
- * 真紅のバラを37本 高橋 穂世 980円
新声社
- * 私の食物誌 池田弥三郎 400円
新潮社

「おしん」の作者橋田壽賀子さんにとって、女学校時代の川谷とせ先生は忘れられない存在だという。生徒たちは、型にはまらない感動ある授業に酔い、みな先生の魅力のとりこになった。橋田さんは、川谷先生によって眠っていたものを引き出されたといえよう。思い出の中に生き続ける教師でありたい。

進路の決定は、十五歳の子どもたちには大変な難題である。まして、就職への道を選んだ卒業生の現在の生活ほど担任にとって気がかりなものはない。久しぶりに会った教え子の、精一杯頑張っている姿を見て、涙の出るほどうれしかった。いかなる苦しみにも負けず、大いに羽ばたけ、中学卒業生。



あとわずかで今年度も終わろうとしている。お互いに、年度始め思いを新たにスタートしたに違いない。今ふり返って納得のいく一年であったらうか。教育。それは息の長い仕事だけに、意図的計画的なものでなくてはならない。三月。新年度に向けて、心ときめ細かな準備をしたいと思う。

巣立ちゆく子たち、卒業式も近い。六年、三年、各課程を終了した個々の成長は著しい。しかし、錯綜する複雑多岐な情報社会に、小さな心にはまだ春は遠く、冷たい風にゆれ動いていることだろう。そっと「春の陽だまり」を作って見守ってやることしかできないのだが……。